

聞えて、たゞ人にはえゆるさむともてあつかはれける程に、略中まのびて御せうそ有て、かくれつゝ参り給ひけるほどに、日にそへてたゞひなき御心ざしにて時めきたまふ程に、たゞならぬ事さへおはしければ、御いのりおどろくゝまきをでかたぐゝせさせ給ふほどに、女宮子み奉らせ給へれば、めづらしきをばよろこびながら、男におはしまさぬをぞくちをしようおぼしめしけるに、又うみ奉り給へるも子おなじさまなれば、まめやかにくちをしようおぼしめしたれど、さすがいかゞはせんにておはしますなるべし、略中まばしはあの御方など申ておはしまし、程に、三位のくらゐそへさせ給て、この御事をのみたゞひなき御もてなしなれば、世の人ならびなく見奉るに、又たゞならぬとおはしませば、略中いひしらぬ御いのりども有けるほどに、保延五年にや侍りけん、つちのどのひつじのとし五月十八日、よになくけうらなる玉のをのこ宮衛近うまれさせ給ぬれば、院のうちさらなり、世中もうごくまでよろこびあへるさまいはん方なし、略中かくて同七年十二月七日、御とし三にて位ゆづり申させ給ふ、ちかくは五などにてどつかせ給へども、心もとなさにやすかやかにるさせ給ぬ、御母女御殿、皇后宮にたゝせ給、御とし廿五にや、

諫闈立后

〔日本紀略五〕冷泉康保四年五月廿五日癸丑、巳時天皇上村崩於清涼殿、九月四日己丑、以三品昌子内親王爲皇后、故朱雀院皇女、即有宮司除目、安和元年五月廿七日己酉、於朱雀門大祓、依諫闈也、今日申一點、音奏御膳供魚味、

〔榮花物語日〕隆の薨、寛弘八年六月十三日御讓位、略一十月十六日御即位、略三なり、略中かゝる程に十月廿四日、冷泉院うせさせ給ぬ、略中世の中みな諫闈になりぬ、略中はかなくて月日もすぎ、年號かはりて長和元年といふ、元三日のありさま、たゞならましかばいかにめでたからまし、たれこめて殿上にも出させ給はずなとして、略中内にはかんの殿子妍の后にるさせ給べき御